

沖研通信ゆいゆーる

第4号
2011年4月25日発行
編集:広報委員会
沖縄県診療情報管理研究会



C O N T E N T S

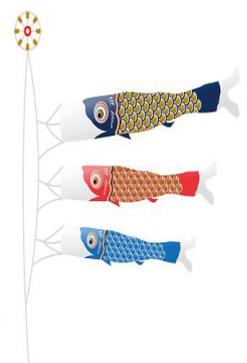
2~3 診療情報管理士認定試験直前対策勉強会

4 定例勉強会の参加者感想

5 「DPCセミナーin那覇」 / ゆんたく広場

6~7 施設紹介 (県立中部病院・国立療養所宮古南静園)

8 沖研2011年度事業計画・編集後記



○認定試験直前対策勉強会（参加者31名）

平成23年1月23日(日)に、浦添総合病院アルカディアにて、平成22年度診療情報管理士認定試験に向けた勉強会を開催しました。

去る1月23日行った勉強会は昨年の反省を踏まえ、かなり前から準備に入ったため、概ねスムーズに進めることができましたと思います。

出題する問題は役員が分担して作成して、何度も校正を重ね、普段は業務に追われてじっくり読む機会のないICD第1巻を再確認して、一つの問題に何時間も取り組んだり、ある意味役員の勉強会でもあったと思います。間違った回答はできないというのはかなりプレッシャーでしたが、良い経験になりました。

この勉強会が来年度再来年度と続き、より良いものになっていくようこれからも精進しなければと思いました。直前対策のため頑張った役員の皆さんお疲れ様でした。

沖縄県診療情報管理研究会事務局
沖縄第一病院 大城 智子



受付中



熱心に受講中



講師陣も本気です

○アンケート集計結果

勉強会終了後に実施したアンケートに、皆様からご協力いただき、本当にありがとうございました。
次回開催の勉強会を今回以上に有益なものとするべく、努力してまいります。

1. 職種について (回答数 30 件)

病歴室	医事課	医師事務作業補助	看護師	コ・メディカル	その他
9	13	3	0	2	3

2. 性別と年齢について (回答数 30 件)

男性	女性	未回答	
8	17	5	
20代	30代	40代	50代以上
2	18	8	2

3. 勉強会の評価について (回答数 30 件)

	とても参考になった	参考になった	どちらかといえば参考になった	参考にならなかった	不明
基礎分野	9	11	6	2	2
専門分野	12	12	5	0	1
分類法	23	7	0	0	0
全体の評価	21	9	0	0	0

4. 勉強会を他へ勧めますか? (回答数 30 件)

YES	NO
30	0

5. 要望&ご意見

- ・試験で不合格の場合に点数が分からず、どの分野で点数が足りないのかを知りたいので、沖研から日本病院会へ合否だけでなく、点数も教えてもらえるよう改善依頼してほしい。
- ・基礎や専門に分けて、対策勉強会をしてほしい。
- ・定期的な勉強会も含めて、今回のような試験対策もしてほしい。
- ・忙しい中このような勉強会を開催していただき感謝しています、ありがとうございます。
- ・今後も、直前対策勉強会を続けてほしいです。
- ・今回のような模擬試験を年1回だけでなく、試験対策として役立ったので、もう少し増やしてほしい。
出来るなら試験2週間前より少し早い時期(3ヶ月前等)に開催すると、勉強の計画を立てやすいと思います。
- ・今回のような試験形式の勉強会増やしてほしいと思います、勉強になりました、ありがとうございました。
- ・統計学の勉強会もしてほしいし、図書館のように管理士の勉強に必要な本の貸し出しもしてほしい。
- ・統計の説明は非常に良かったが、原死因のダブルコーディングの説明が理解できなかった。
基礎や専門の問題もあれば良かったと思うし、1ヶ月前より半年前から毎月あった方が良いと思う。

冲研勉強会報告

○冲研勉強会報告

冲研主催:ミーティング「普段困っている事」

開催日:平成23年2月19日(土)14:00~17:00 場所:ハートライフ病院2階講堂 参加者26名
 今回のミーティングでは「普段困っている事」をテーマに、コーディングやDPC、がん登録、その他業務について幅広い内容を話し合いました。参加者の感想をご紹介します。

○ミーティングに参加して

私自身、今年よりがん登録を担当しているということもあり興味を持ち参加しました。他の病院さんと様々な情報交換が出来たいいい機会になりました。

ミーティングでは、「これから院内がん登録を始める」「登録担当者が変わった」など様々な施設があり悩みはそれぞれでしたが、みんなで問題を考える良い場になったと思います。

今後ともこうした交流を図ることで沖縄県全体の院内がん登録の精度向上に繋がればと感じました。

社会医療法人敬愛会 中頭病院
 医療情報部 仲宗根 正太

○ミーティングに参加して

通信教育2年目ながら、意見交流の場として参加させて頂きました。ICD-10では、検査や処置、化療の有無等の背景からコードを選択していく幅広さを知り、大変勉強になりました。また、がん登録についての意見が多く寄せられ、少人数で運用する中、学術的な難しさや情報回収の運用方法などの悩みがあり、初級者研修のみでは理解を深めることに限りがあると知りました。実践的な上で相談する場も必要とされていると感じました。

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院
 診療情報管理室 安里 和紗

○ミーティングに参加して

当院で一月から院内がん登録が始まっていますが、1人で院内がん登録担当者としてやっていくことの不安が大きく、何から手をつけていいのかわからない状態でした。今回の院内がん登録の勉強会に参加して、皆さんから温かい励ましの言葉と助言をいただき不安も幾分か楽になりました。今もまだ、暗中模索の状態ですが助言を頼りに院内がん登録を進めています。まだまだ、分からないことだらけですが、これからも勉強会には積極的に参加させていただこうと思っています。ありがとうございました。

沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院
 医療情報分析室 富永 幸乃



ミーティング中はもちろん、休憩中も情報交換&交流の場となりました。



「DPC セミナー in 那覇」

平成 23 年 1 月 22 日（土）午後から那覇市の沖縄産業支援センターに於いて「DPC セミナー」が開催されました。これまで毎年夏に北九州市にある産業医科大学で 2 日間に渡り実施されていた DPC 調査研究班主催による「DPC 夏季セミナー」が半日に短縮され広島・東京・山形・札幌・神戸・那覇・金沢の 7 都市で開催されたものです。セミナー参加可能な条件は、DPC 対象病院および DPC 準備病院で研究班へ既にデータを提出している病院、もしくは今後データを提出する方向で検討中の病院の方のみで、31 名（11 医療機関）の方々に参加され、中には県外からの参加者もおられました。

セミナー内容は下記の通りです。

13:00-14:00 「研究班の今までの研究成果の紹介」（伏見先生）

14:20-15:20 「DPC と GIS 分析」（石川先生）

15:40-16:40 「DPC データ分析中上級（アクセス）」（藤森先生）

17:00-18:00 「DPC 診療プロセス分析中上級(アクセス)」(桑原先生)

沖縄ではなかなか本土での研修会や講習会へ参加するには地理的に不利であります。しかし、今回のように県内でこのようなセミナーが開催され、多くの参加者がしかも無料で受講できたことに感謝申し上げます。

来年度も引き続きこのようなセミナー等が県内にて開催されることを願っております。

社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院
診療情報管理室 柳 学

ゆんたく広場



※「ゆんたく広場」では冲研会員からの写真を募集しております。

沖研施設会員紹介コーナー

第4回目は、沖縄県で最古の診療情報管理室であろう「沖縄県立中部病院」と最新の「国立療養所宮古南静園」をご紹介します。

沖縄県立中部病院

診療情報管理室長 新垣義孝（泌尿器科部長）

スタッフ8名（診療情報管理士4名、通教生1名）

当院は24時間365日一次から三次まで全ての症例を扱う救急病院です。ベッド数は498床、年間13,000件の入院患者数と多忙な病院です。



【業務内容】

1. カルテの整理、チェック、編綴、情報入力
2. データベースの構築、管理、運用（新垣先生と診療情報管理室職員がファイルメーカーで独自に開発した台帳を用いてデータベースの管理を行っています。）
3. カルテのPDF化業務 PDF後は院内のどの端末からも閲覧が可能（閲覧の為にパスワード登録が必要）
4. 統計業務 年間、月間や国や県から依頼を受けた調査への情報提供等
5. 検索業務 病名及び手術等の各種症例。病棟、診療科毎の傷病データ
6. DPCの応援 様式1のチェック、詳細不明コードの確認及び修正。最近、詳細不明コードの件数が4割台から1割未満に改善されたのは嬉しいニュースです）
7. がん登録の補助業務
8. 医師や看護師のサポート 学会発表やカンファランス、症例検討、看護研究、認定医取得の為の情報、個人研究用等
9. 電子画像の提供 学会発表やカンファランス、症例検討用
10. ファイルメーカーを用いた検索や統計機能の開発（職員が独自に作成）



当診療情報管理室が誇れるものに昭和60年（1985年）より現在まで蓄積した25年分のデータベースがあります。（※2.参照）利用頻度は高く上記のように医師や看護師の学会発表や、勉強会など広く利用されています。情報提供は院内に留まらず、県内の病院はもとより、東京、大阪、福岡など県外の病院、さらに遠く海外の病院からの要求にも対応しており、多くの先生方に喜ばれています。われわれの管理しているデータが広く、そして多くの先生方に利用していただけるのが一番の喜びです。いつも診療情報管理室を支えてくれている、頼もしくユーモアいっぱいの新垣先生と共に、これからも多くの方に愛され支持される診療情報管理室を目指してスタッフ一同頑張っていきます。

伊礼則子

沖研施設会員紹介コーナー

国立療養所宮古南静園

「診療情報管理士」の名称を聞いたのが2006年の12月！「なんなのそれ？」の疑問を解決するために※「野口探検隊」の隊員の二名はさっそうと宮古病院の探検にいきました。その時に現在師匠と呼んでいる平良さんと戸倉さんからその詳細を聞き出し「おっ！」と歓声をあげその資格を取ることを決意したことを今でも覚えています。



月日は流れ念願かなってその二人が資格取得できたのは2010の5月。その道のりは長く険しかった？のでその詳細は省きますが、その間に南静園では、時系列記載の診療録への変化をとげカルテの集中管理を行うなどその役割を果たしつつあります。

活動は、貴重な診療録のため法定保存期間の5年ではなく「永年保存」としているカルテの電子ファイリングの問題解決や診療録の記載が不足の箇所があるため「監査の強化」をその活動の場を広げていますが、活動としてもっとも大切なこと「診療情報管理の大切さ職員の皆さんに伝える」ことも日々の活動の中で心がけていることです。野口隊長のもと野口探検隊の隊員としてまだまだやるべき事がありその探検の詳細はまた今度報告したいと思います。

野口隊長に会いたい方はぜひ、南静園にお越し下さい。新人隊員募集中です。（面接と実技があり）

全国のハンセン病療養所では数少ない診療情報管理士が2名（福祉係:1名 歯科医師:1名）在籍していますが、独立した診療情報管理室はなく入所者の療養生活のお手伝いをする「福祉室」の役割として診療録の管理を行っています。現在、総合棟建設のため仮住まいの場所での業務を行っています。

※野口探検隊とは、園内または園周辺に点在する様々な史跡や建造物を、野口隊長の気の向くままに調査し報告を広報誌で行っています。ぜひ広報誌でチェックして下さい。
垣花英成

何も堅苦しく施設紹介をしたいわけではありません。頑張っているのなら、沖研施設ならOKです。次はどここの施設を紹介しましょうかね～？
編集：たいら

平成 23 年度 事業計画

○沖研定例勉強会：第 3 土曜日 14 時開始

開催日	定例勉強会開催内容	会場
H23.4.16 (土)	コーディング (第 XII 章 皮膚および皮下組織の疾患)	浦添総合病院
H23.6.18 (土)	東日本大震災の医療班派遣	沖縄赤十字病院
H23.8.20 (土)	医療統計学	(未定)
H23.9.17 (土)	精神疾患 (臨床とコーディング)	(未定)
H23.10	第 4 回沖縄県診療情報管理セミナー (詳細は、沖研 HP 又はメーリングにてお知らせします。)	(未定)
H24.1.22 (日)	認定試験直前対策勉強会	(未定)
H24.2.18 (土)	(内容未定)	那覇市立病院

※内容や日程は変更する場合がありますので、その都度、沖研 HP やメーリングの案内を確認下さい。

○研究会入会のご案内

研究会にご参加頂ける施設(個人)の方は、入会申込書に必要事項をご記載の上、メールにて事務局までお送り下さい。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。<事務局アドレス:oki-jimukyoku@umin.ac.jp>
研究会の運営や活動、入会に関するご不明な点は事務局までお問い合わせ下さい。

主な活動内容

- * 定例勉強会
- * 年 1 回のセミナー開催
- * 研究会広報誌の発行
- * メーリングによる情報交換、情報提供、質問、相談等

年会費

施設会員(施設で申し込む場合) 10,000 円

個人会員(施設が会員でない場合) 3,000 円 ※施設会員であれば、個人での申し込みは不要です。

賛助会員(企業対象) 1 口 10,000 円

【編集後記】2月の試験の可否も判明し、一喜一憂している頃でしょうか。合格した皆さんおめでとうございます。これから仲間ですね。残念だった方は、沖研でも直前対策研修会など、出来る限りサポートしていきますので、来年2月にまた頑張りましょう。今後も、皆さまに愛される「ゆいめーる」を目指していきます。広報委員より原稿依頼があれば嫌がらずに、ぜひご協力よろしく願います。(S.N)

